



Vol.4 令和4年1月発行

生活支援コーディネーター NEWS

★みんなの知恵と力を合わせて自分らしく暮らしていける
磐田を目指して！！

【生活支援コーディネーター(SC)とは！】

地域にある資源を活かして、地域の支え合いを推進する役割を担うのがSCです。磐田市の将来をより良くするための調整役として、地域の様々な活動と活動、人と人を“つなぐ”支援をしています。このSCニュースでは、コロナ禍においても知恵と力を合わせて、住み慣れた地域でご活躍いただいている市民の皆様の活動をご紹介します。

(※磐田市のSCは、市社協職員が担っています。)



西貝地区

地域の絆をつむぐ「きずな弁当」

西貝地域づくり協議会福祉部の「きずな弁当」は、地域の方たちが手作りのお弁当を調理・配食をする活動です。衛生管理に十分気を付け、栄養バランスを考えたレシピを考案。高齢者の安否確認、見守り活動の一環として、調理ボランティア、西貝地区福祉委員会、東部地区民児協西貝地区内委員の皆さんが力を合わせて活動を続けられています。

月1回、1食300円の会費で、現在55食が会員へ届けられ、とても喜ばれています。平成19年から続く「きずな弁当」は、コロナ禍で人のつながりが希薄になりがちな現在も、「絆」を絶やさない活動として地域で欠かせない取り組みとなっています。



見付地区

向こう3軒両隣の助け合いを実現！ ～組の中でのごみ出し支援～

高齢者の一人暮らしが増え、今までは何とか自分でできていたごみ出しが、年齢を重ねるにつれて出来なくなったという声をよく聞きます。そんな中、河原町自治会のある組でごみを出しに行けない高齢者世帯に対し、組のメンバーが順番でごみ出し活動を行いました。



自分の家のごみを出すついでにお宅へ寄って、玄関先に出してあるごみを一緒に持って行きます。月交代で行うので、活動は年1回程度。今はそのお宅の支援は終了しましたが、「問題があれば、方法を変えればいい。まずはやってみよう！」ということで支援しました。「ついで」と「無理のない」やり方で、自然と見守り活動にもつながったそうです。

福田南地区

高齢者の買い物支援 ～杏林堂とくし丸～

福田南地区の石田組自治会と7番組自治会では、買い物に困る高齢者を支援するため、地域住民が立ち上がりました。毎週1回、自治会館に杏林堂の移動スーパー「とくし丸」に来ていただき、買い物を楽しんでいます。



暑い日も寒い日も雨の日も…ほとんど休まず参加されている方もいて、生活に欠かせない存在になっているそうです。

買物の前後には、住民同士の会話も弾み、大事なコミュニケーションの場になっていることがわかります。



編集／発行

社会福祉法人磐田市社会福祉協議会

〒438-0077 磐田市国府台57-7

TEL 0538-37-9617

FAX 0538-37-4866

磐田市社会福祉協議会
マスコット
キャラクター ふくぴー

